



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社ナルネットコミュニケーションズ 上場取引所 東
コード番号 5870 URL <https://www.nal-mt.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 東村 大介 (TEL) 0568(20)9111
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,744	—	340	—	328	—	184	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	35	02	—	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—

- (注) 1. 2023年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の記載及び対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 2023年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,652	—	3,150	—	32.6	—
2023年3月期	9,599	—	2,911	—	30.3	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,150百万円 2023年3月期 2,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円	円	円	円	円
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	7,870	12.0	678	31.8	667	35.5	402	△35.3	76.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	5,332,100株	2023年3月期	5,276,100株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	5,278,136株	2023年3月期3Q	一株
------------	------------	------------	----

- (注) 1. 当社は、2023年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の期中平均株式数を記載していません。
2. 当社は、2023年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2 ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、個人消費の回復やインバウンド需要の増加など、緩やかな景気回復基調となりました。一方で、不安定な国際情勢や円安を背景に、エネルギーコストや原材料価格の高騰の影響が残るなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、EV化や自動運転化など、「100年に一度の大変革期」と言われる自動車を取り巻く環境の変化に対応するため、お客様の多様なニーズ、幅広いサービスに対応できるシステム開発を推進し、車両管理業務をより効率的に受託できる体制を構築することで、事業領域の拡大を図っております。また、技術力及び作業品質の高い整備工場とのアライアンスの維持、拡大のため、8月1日にクルマのアフターマーケットで働く人の知恵と情報をシェアするソーシャルメディア「モビノワ」をオープンし、整備工場ネットワークの更なる拡充に取り組んでおります。

主力のメンテナンス受託事業におきましては、大口提携先の増台等による受託台数の増加により、2023年12月末時点の受託台数は75,118台（前年同四半期比6.2%増）となり、売上高は順調に推移しました。原材料価格の高騰による影響につきましては、整備内容の適正化や購買力の強化等の取り組み等による適切な利益水準の確保に努めましたが、冬タイヤを中心とした調達価格の上昇により、売上原価率が上昇しました。MLS（マイカーリースサポート）事業におきましては、管理台数が72,601台（前年同四半期比18.7%増）となり、BPO事業、その他を合わせた2023年12月末時点の当社における総管理台数は前年同四半期比11.6%増の178,049台となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,744百万円、営業利益は340百万円、経常利益は328百万円、四半期純利益は、前期合併に伴う抱合せ株式消滅差益を計上していたことにより減益となり、184百万円となりました。

なお、当社は自動車関連BPO事業の単一セグメントのため、事業のセグメント別業績については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、9,652百万円となり、前事業年度末と比べ52百万円増加いたしました。

この主な要因は、現金及び預金の増加551百万円、売掛金及び契約資産の減少226百万円、顧客関連資産の減少143百万円等によるものであります。

負債合計は、6,502百万円となり、前事業年度末と比べ186百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金の減少164百万円、未払法人税等の増加130百万円、及び、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の減少156百万円等によるものであります。

純資産合計は、3,150百万円となり、前事業年度末と比べ239百万円増加いたしました。この主な要因は、上場に伴う新株発行により、資本金が26百万、資本剰余金が26百万円それぞれに増加したこと、及び、四半期純利益184百万円を計上したことによる利益剰余金の増加184百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年12月25日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,220	1,153,520
売掛金及び契約資産	2,875,720	2,649,240
リース債権及びリース投資資産	161,363	165,375
商品	20,448	14,120
貯蔵品	2,826	5,458
その他	118,527	60,382
貸倒引当金	△300	—
流動資産合計	3,780,807	4,048,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	419,346	402,974
貸貸資産（純額）	8,537	5,777
工具、器具及び備品（純額）	8,743	8,566
土地	267,040	267,040
リース資産（純額）	32,313	18,638
有形固定資産合計	735,982	702,997
無形固定資産		
ソフトウェア	92,876	102,813
ソフトウェア仮勘定	127,333	165,294
顧客関連資産	3,103,500	2,960,249
のれん	1,695,645	1,618,571
その他	16,187	2,693
無形固定資産合計	5,035,542	4,849,622
投資その他の資産		
差入保証金	15,398	17,363
その他	32,813	35,261
貸倒引当金	△917	△917
投資その他の資産合計	47,295	51,707
固定資産合計	5,818,819	5,604,327
資産合計	9,599,627	9,652,425

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,609,563	1,444,910
短期借入金	580,000	580,000
1年内返済予定の長期借入金	505,914	507,658
リース債務	18,354	15,995
未払法人税等	3,779	134,753
契約負債	1,078,522	1,133,805
賞与引当金	81,917	44,506
その他	344,951	392,138
流動負債合計	4,223,002	4,253,767
固定負債		
長期借入金	1,333,090	1,175,018
リース債務	15,477	3,613
退職給付引当金	132,446	132,095
繰延税金負債	984,346	937,542
固定負債合計	2,465,360	2,248,268
負債合計	6,688,363	6,502,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	76,790
資本剰余金	2,588,000	2,614,790
利益剰余金	272,040	456,900
株主資本合計	2,910,040	3,148,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,223	1,907
評価・換算差額等合計	1,223	1,907
純資産合計	2,911,264	3,150,389
負債純資産合計	9,599,627	9,652,425

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,744,071
売上原価	4,073,547
売上総利益	1,670,524
販売費及び一般管理費	1,329,817
営業利益	340,707
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	333
固定資産売却益	5,921
その他	1,515
営業外収益合計	7,771
営業外費用	
支払利息	9,649
上場関連費用	8,921
株式交付費	1,449
その他	5
営業外費用合計	20,025
経常利益	328,453
税引前四半期純利益	328,453
法人税、住民税及び事業税	190,755
法人税等調整額	△47,162
法人税等合計	143,593
四半期純利益	184,860

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年12月25日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2023年12月22日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式56,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ26,790千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が76,790千円、資本剰余金が2,614,790千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、自動車関連BPO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。